

精氣

侵蝕

2

DOJIN
R18
成人向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止



前回のあらすじ

母港へ帰港する途中、海図に無い島を発見した遠征艦隊は調査のため島に乗り込む。

2人1組で3方向に別れ、調査に入る一行。

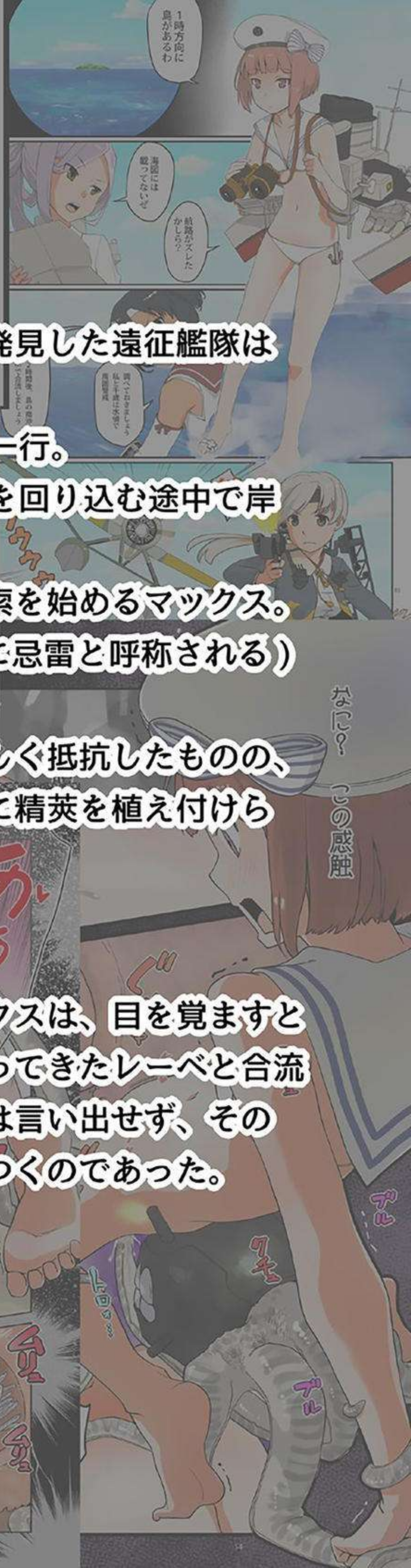
マックスとレーベの2人は、島の西側を回り込む途中で岸壁に開いた洞窟を発見する。

レーベを洞窟前に待機させ、単独で探索を始めるマックス。その最奥でタコのような深海棲艦（後に忌雷と呼称される）に襲われる。

執拗な腔内の蹂躪に、嫌悪感を抱き激しく抵抗したものの、強引に引き出された性感に屈し、子宮に精英を植え付けられてしまう。

深い満足感にその身を浸しながら…

激しい生殖の後、気を失っていたマックスは、目を覚ますと命の尽きた忌雷を破壊し、心配して追ってきたレーベと合流したが、正体不明の怪物に犯されたとは言い出せず、その腹の奥に敵の子種を抱えたまま帰途につくのであった。





あれから誰にも言えないまま
2週間が過ぎた……

カクカク



カクカク



カクカク

カクカク





やっぱり。

何か産み付けられてたんだ

クッ

キ



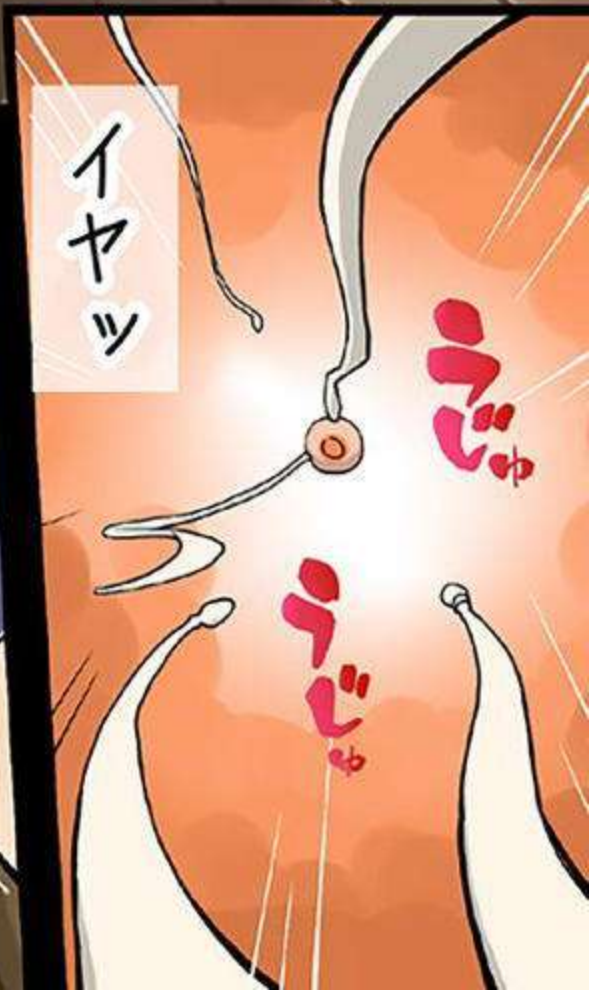
卵管

ズッ

うぐっ!!



ヤツらの子を
孕むなんて

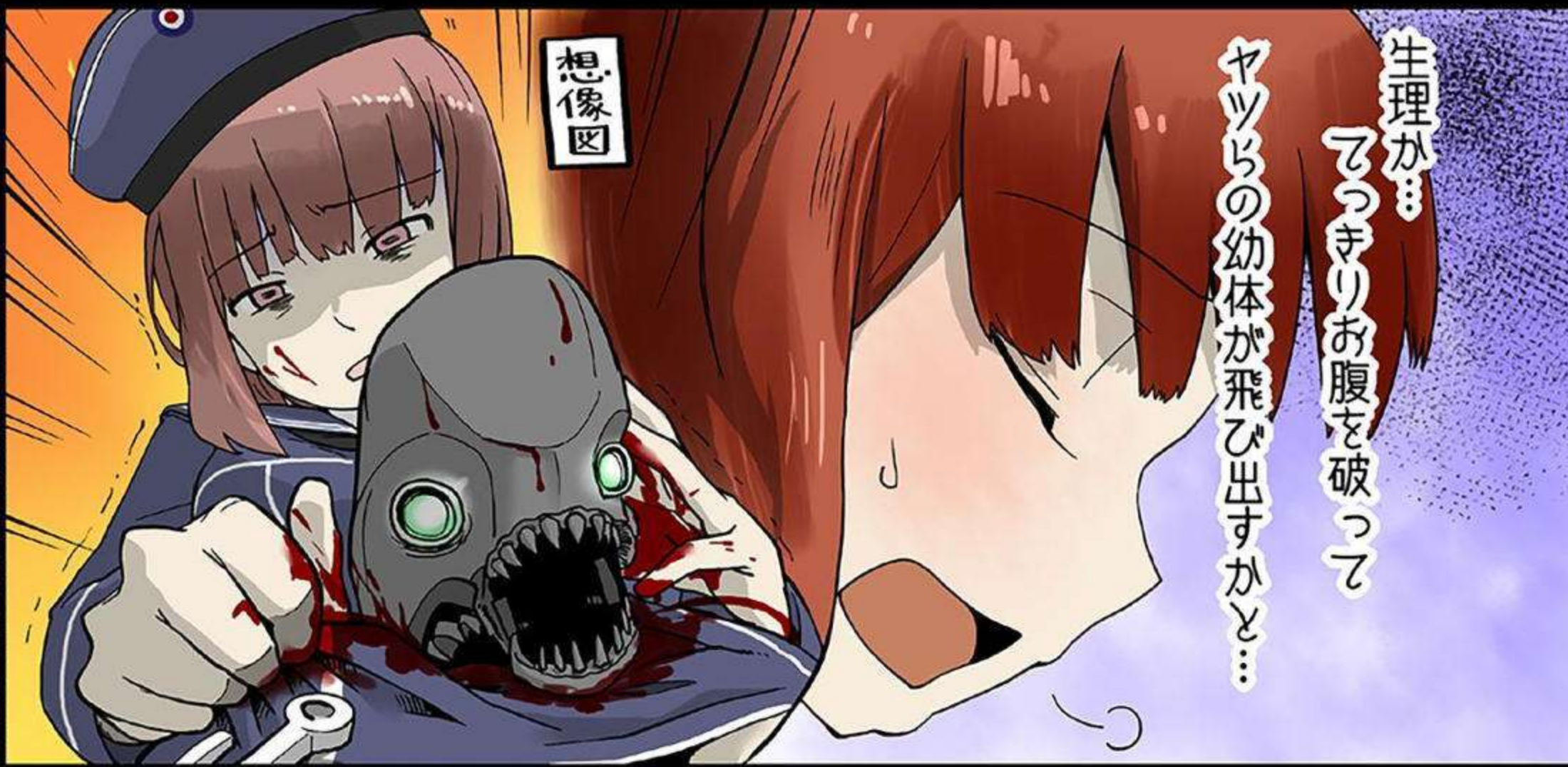


イヤッ





何とも…ない？



生理が…

てつきりお腹を破って

ヤツらの幼体が飛び出すかと…

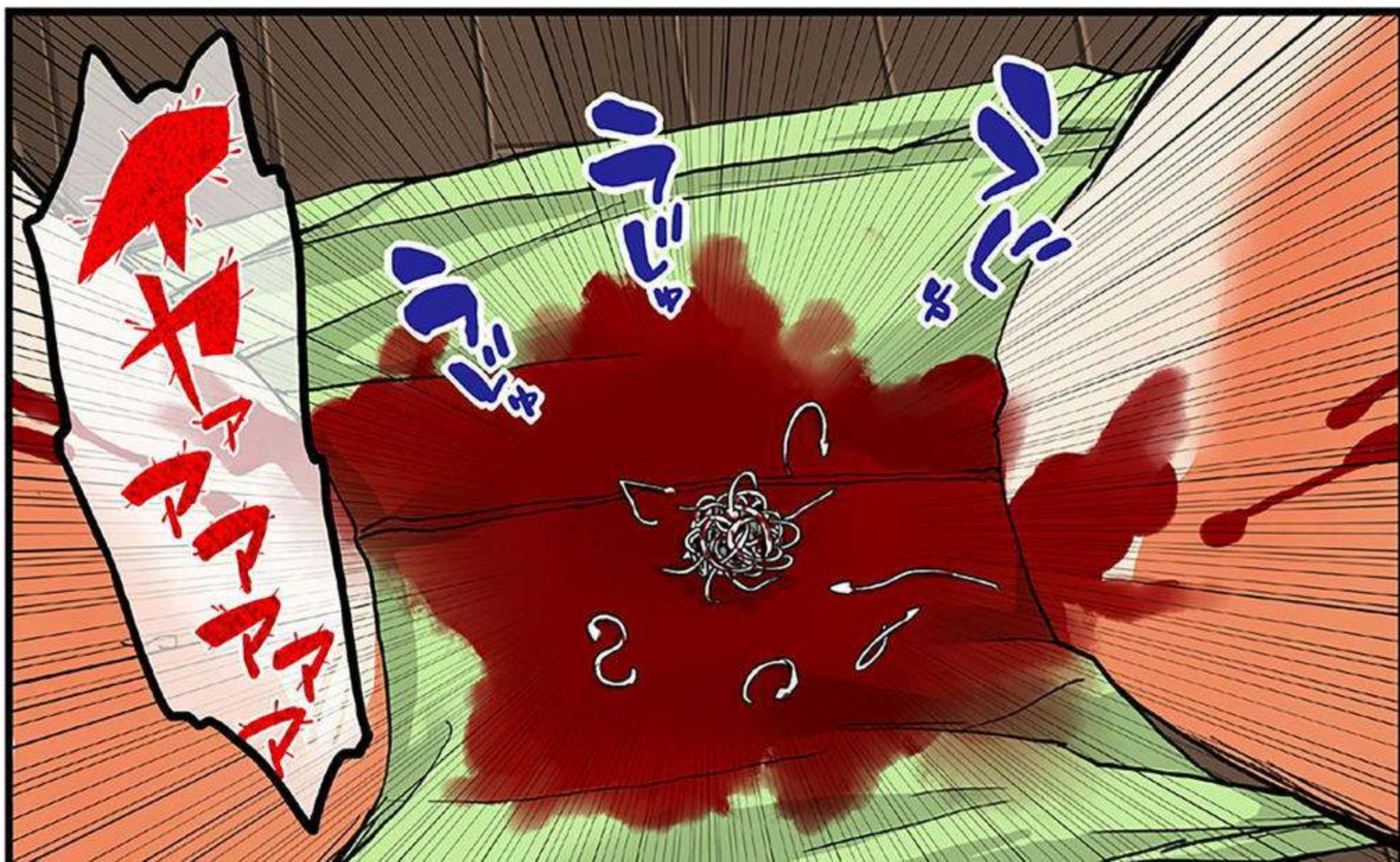
想像図

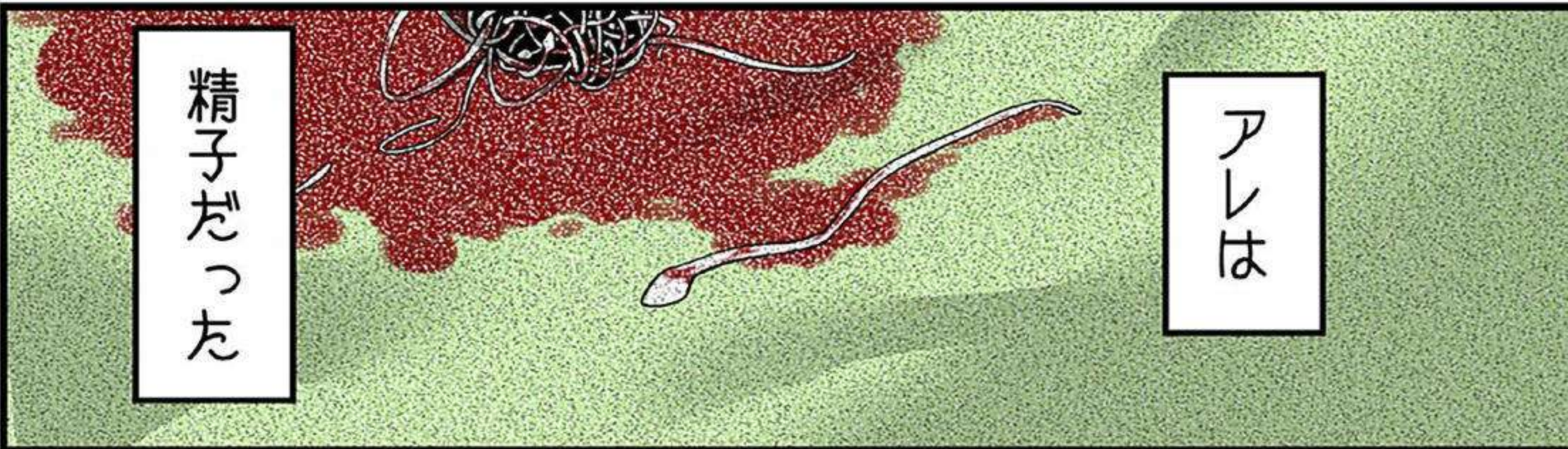
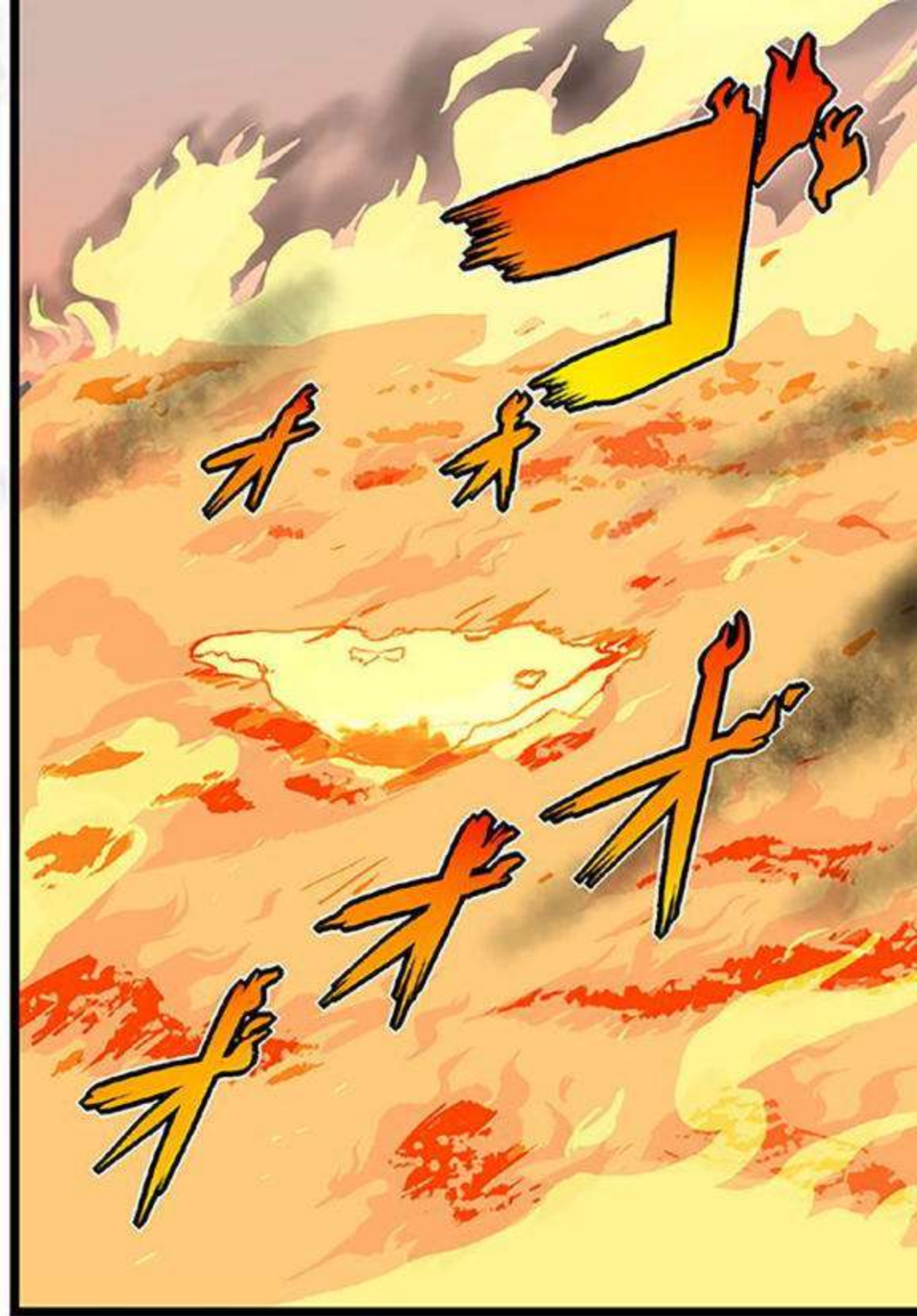
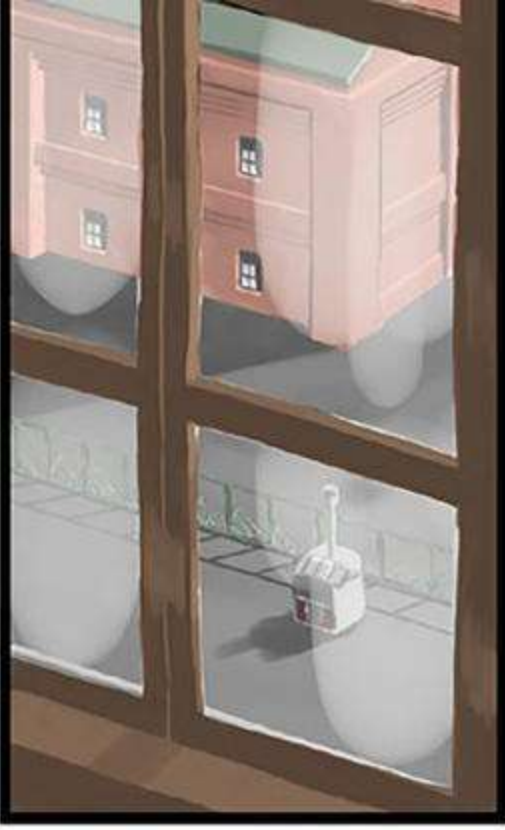


こんな急に来るなんて

替えの下着

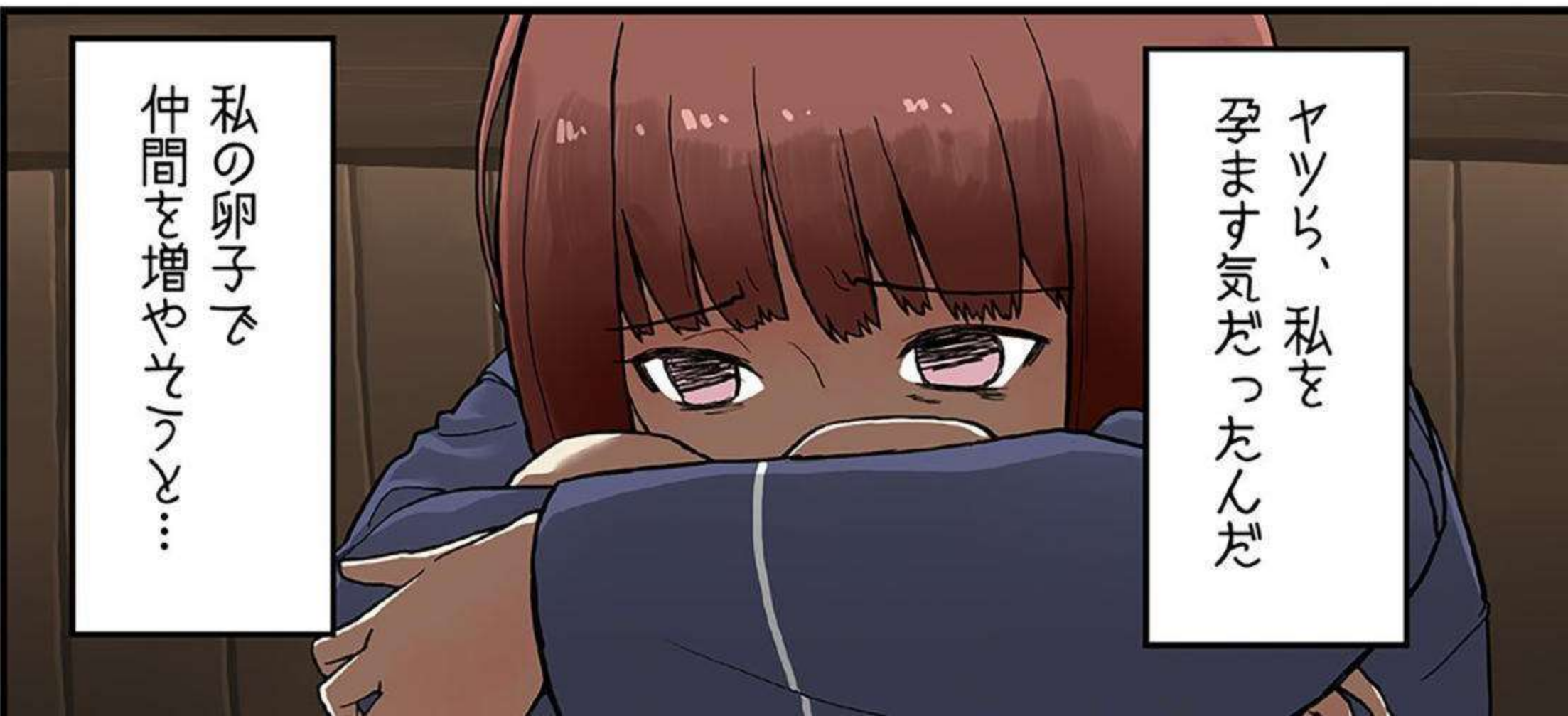
申請ださなや…





精子だった

アレは



ヤツら、私を
孕ます気だったんだ

私の卵子で
仲間を増やせようと...



冗談じゃない

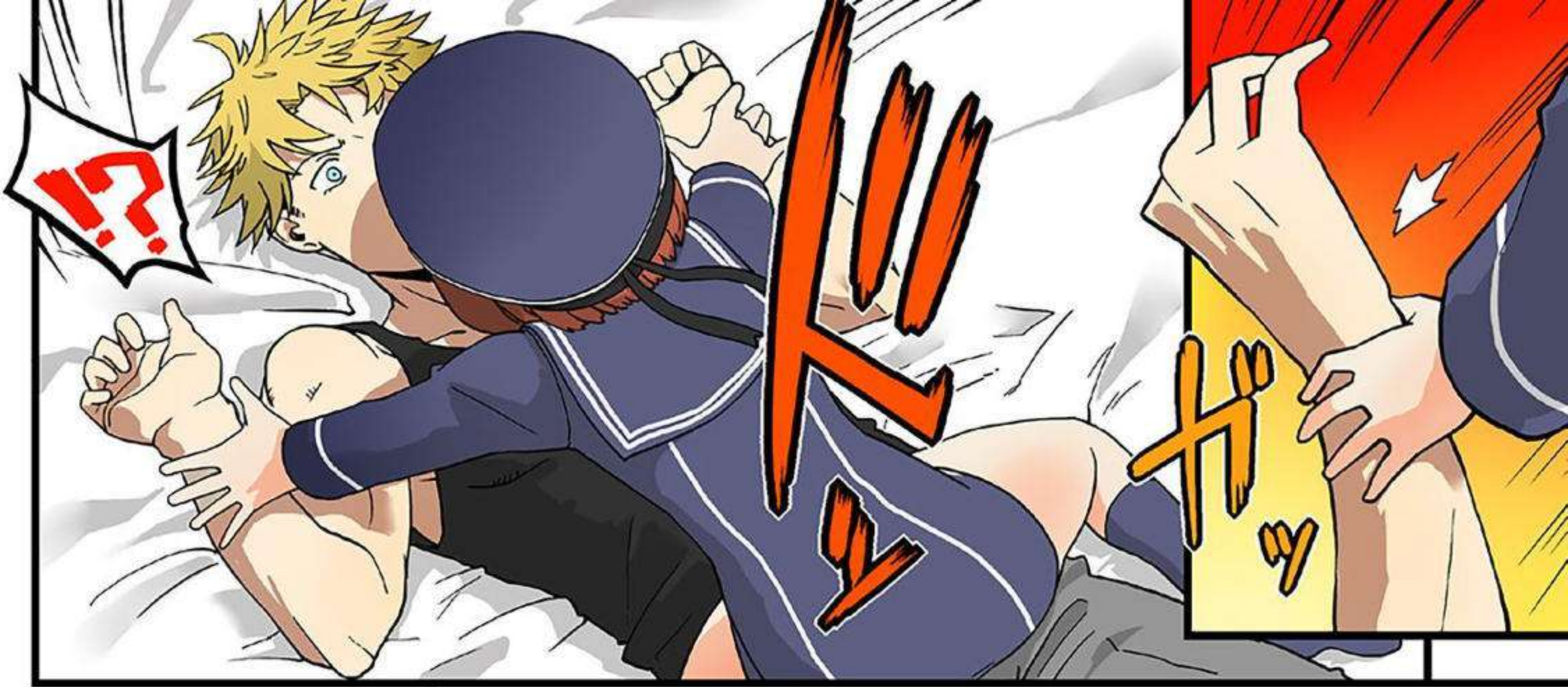
この体はヤツらの
ものじゃないわ



この身は――

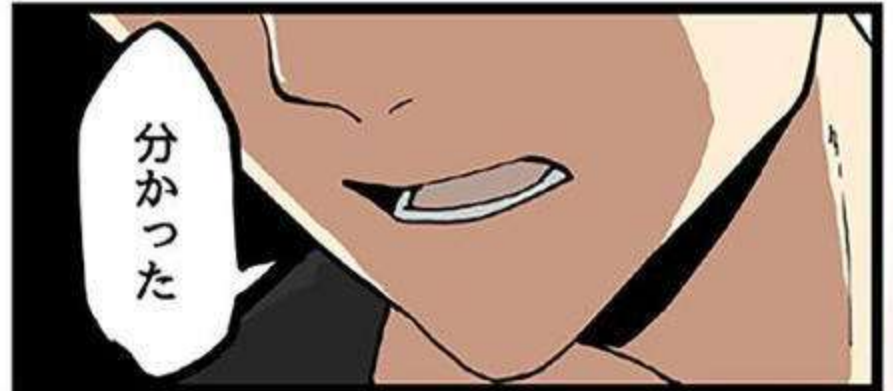


どうした？
こんな時間に





13



3か月後――







うわ!?

ガッ

ビュッ

ビュッ

バッ

なっ!?

コイツ
なぜコイツ!?

離せ!!

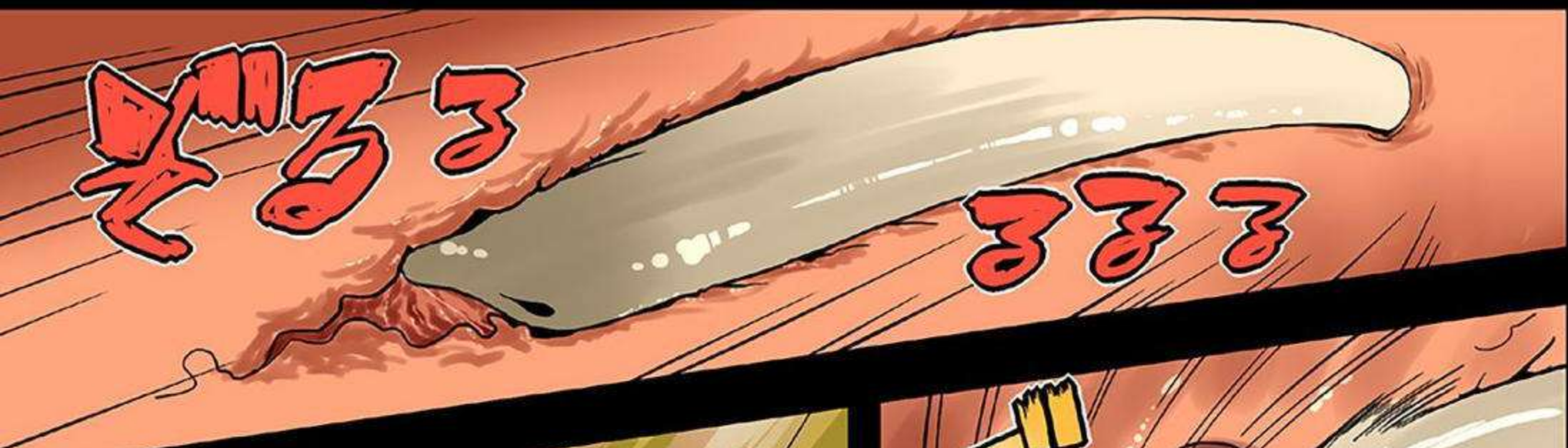
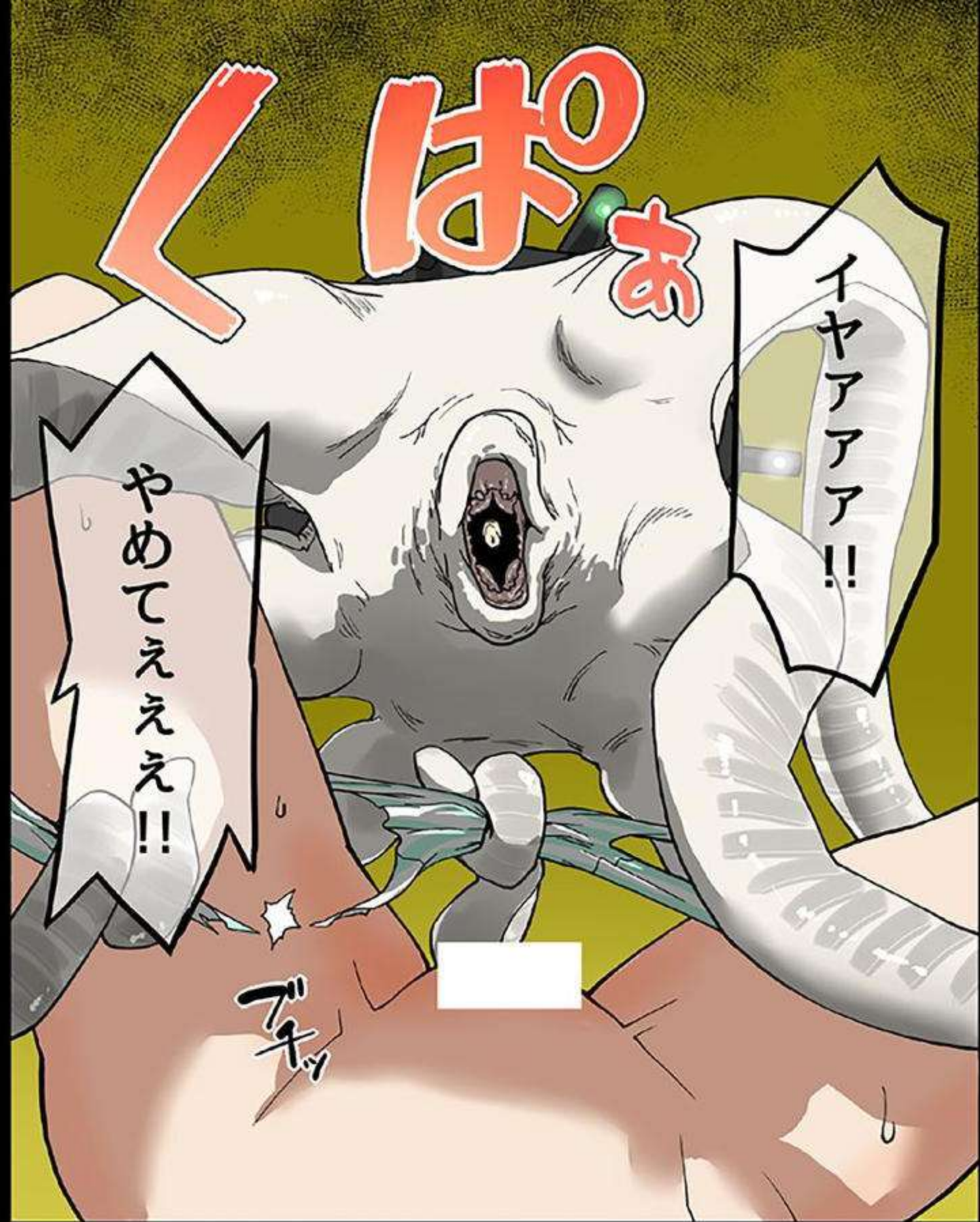
そう何度も
犯されは…

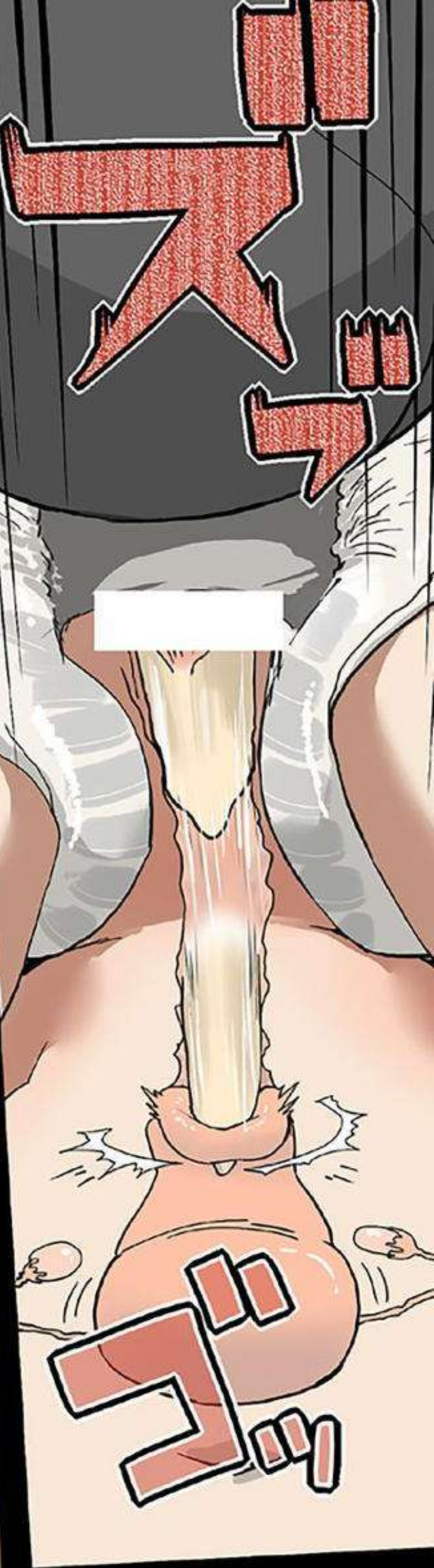
ア

ア

ああ!?







こんな...ッ
激し...ンッッ

コイツ
前のと違う



子宮を自分から
捧げさせるように

探ってる
私の弱点

おっ
おっ♡

おっ♡

おっ♡

おっ♡

おっ♡

墮とさうとじこころ

ウネ

おっ♡

ウネ



クチュ

ウネ

クチュ

ウネ

クチュ

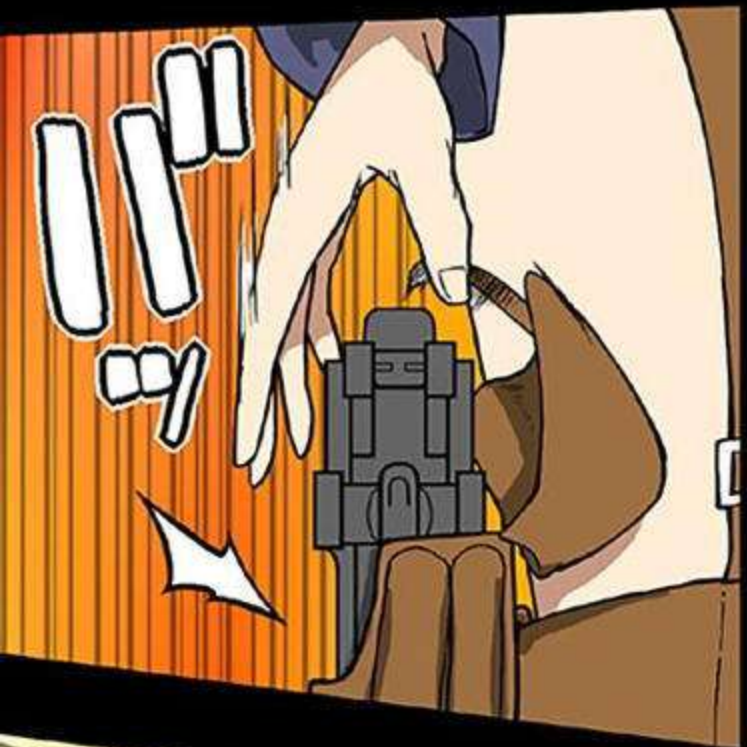
ああー

クチュ

ああー

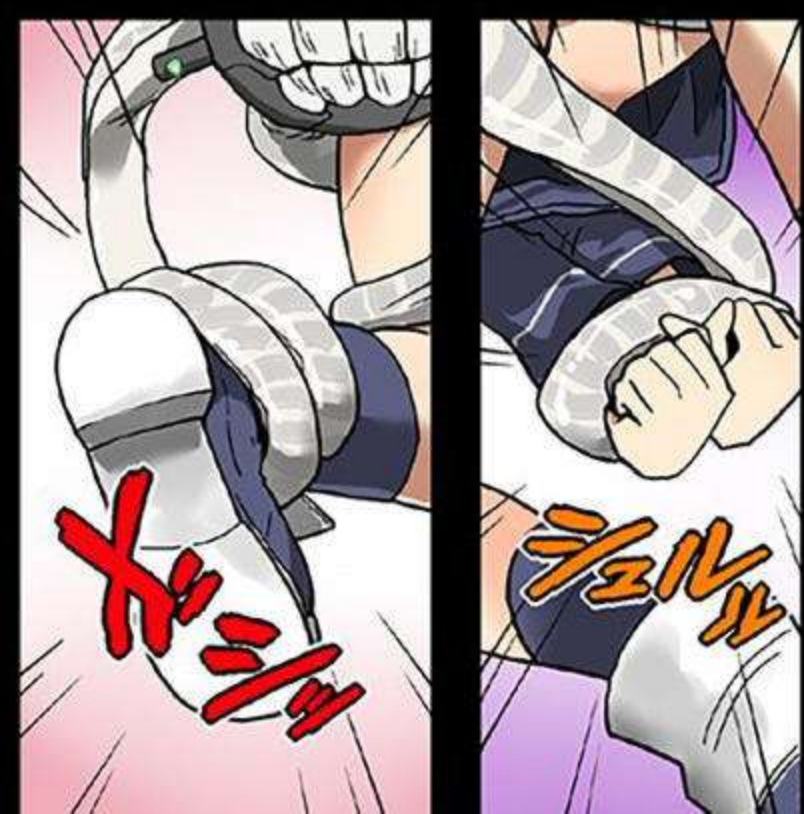
ガチャ

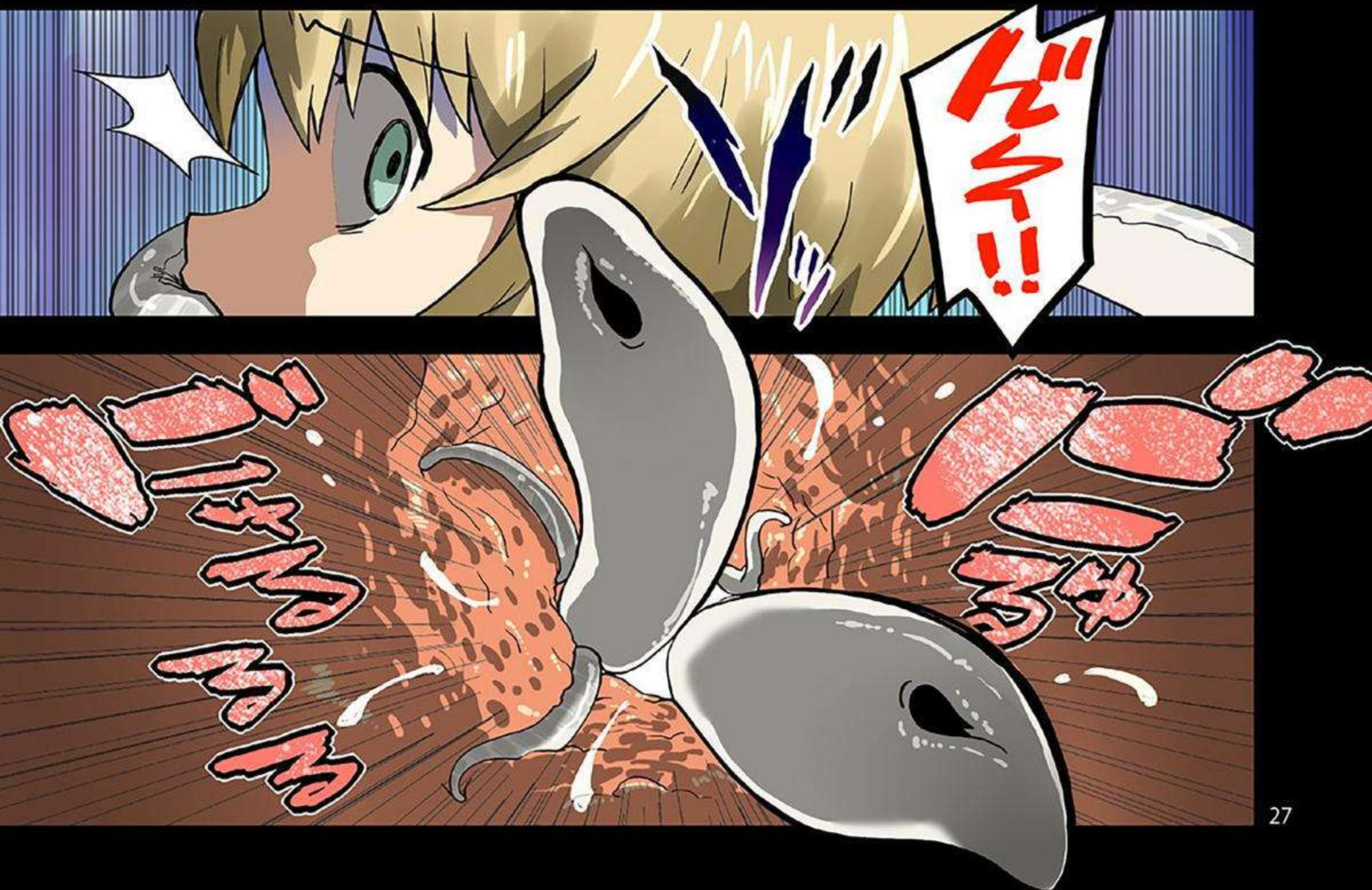
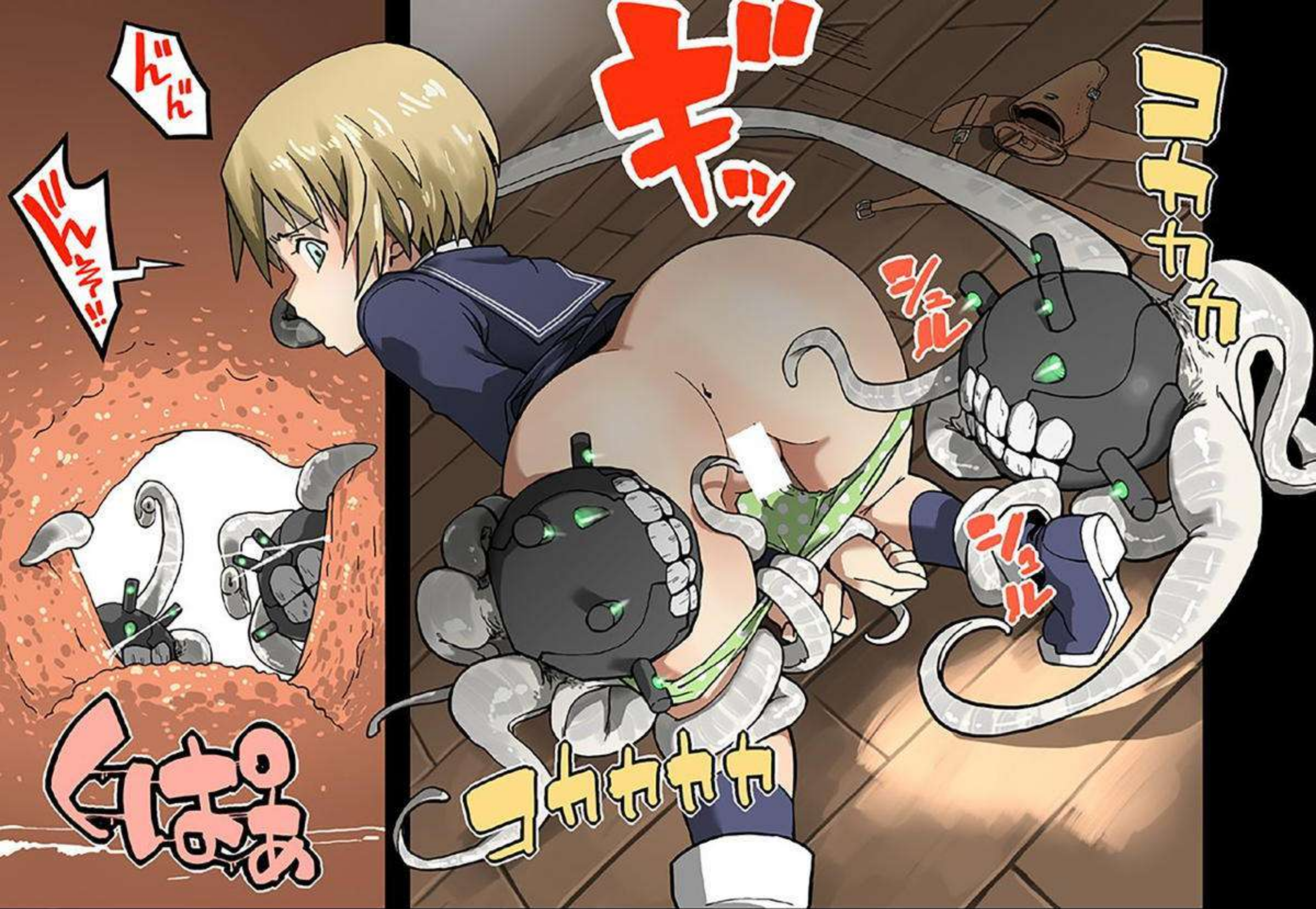
ただいま
もう帰ってる?
マックス





まだ2体いた!?







愉しんでる

こいつら
イガ
絶頂せるのを



やっぱりさうだ



かは



しっ
しっ



いいいいいい
いいいいいい

こんなの
耐えられな...

ヤバ
ヤバ
いい

的確に
弱点を
責めてる



カリカリカリカリカリカリカリカリ



マックス…





え？



ピタ

私なんか触手1本で抑えておけるよ？

ずいぶんナメてくれるじゃない

でも、この機は逃さないわ!!



ズン



あ♡



ムリ！無理ムリい！！
前の時と同じ！
弱点全部すられて

体にチカラ
入んない♡

ム

ブル



ねえ

マックス

動いて!
動いてよオ♡



ウソだ…

ボク こんなに

頑張ってるのに…

ガマンしてるのに…



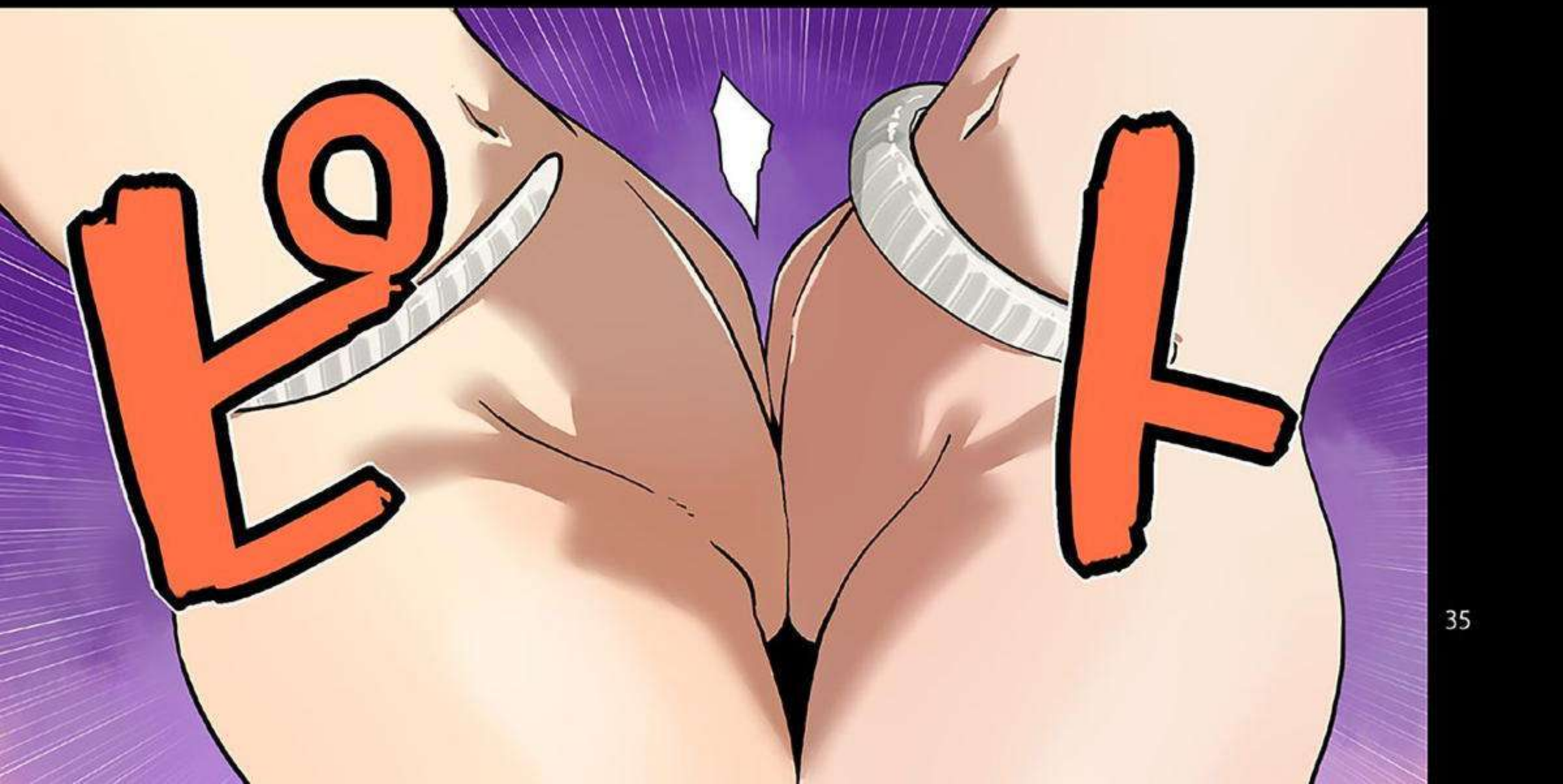
違う…

ちがうの

レーベ

これ…

ちが…





分かる この感触

レーペが何をされてるか
コツコツ響いてくる

ぞして嫌悪感を
押し流すような快感に

溺れていく
墮ちていく

下腹の震えから

全部伝わってくる



子宮に直接
種付けされてるのが

苗を
植える
ように

あの日の私が
されたみたい







あぁぁぁ

ゴウッ

ゴウッ

ニユルニユル

ちゅん

ちゅん

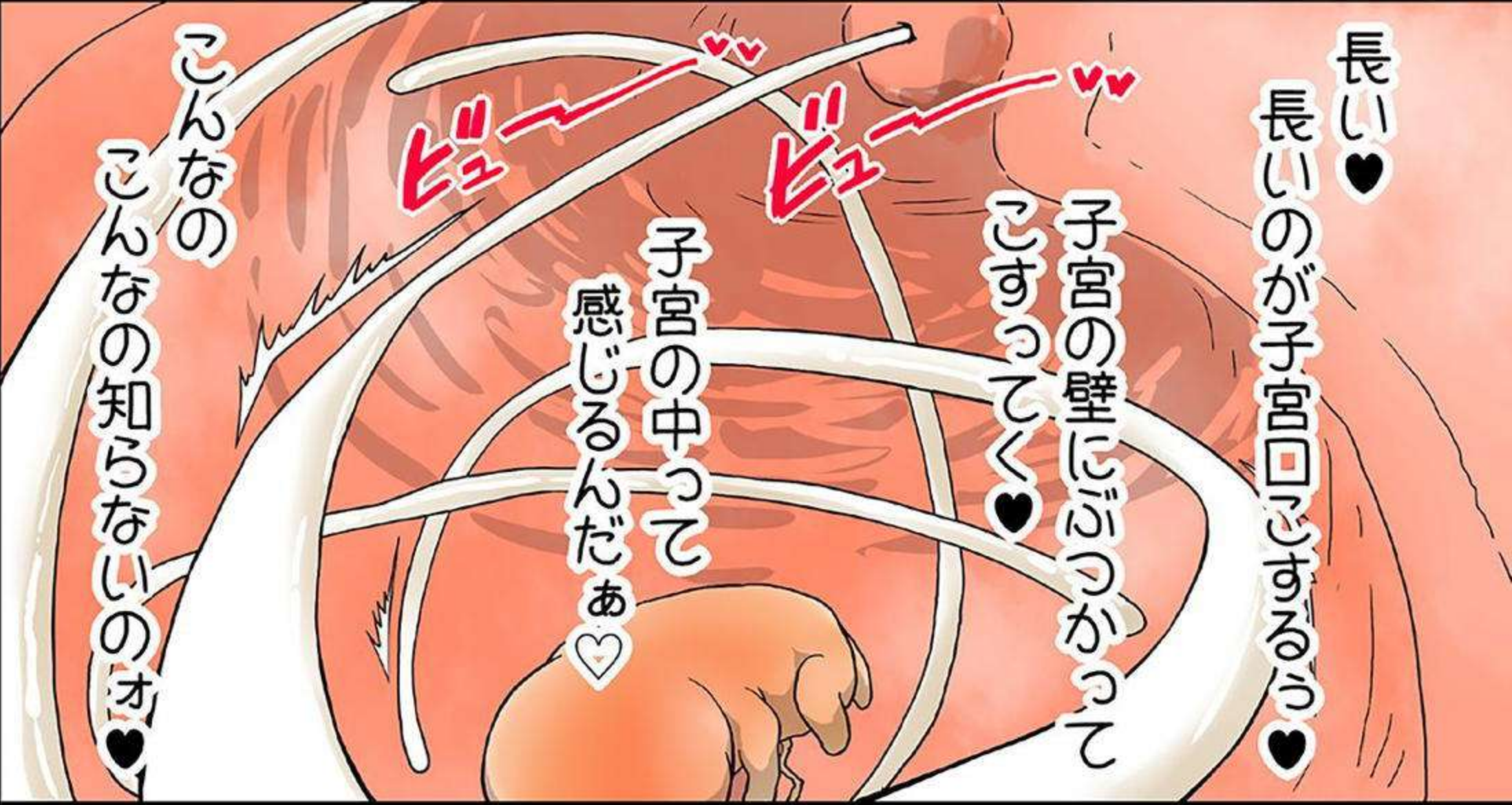
アアアア



なにコレ

前のと違う

エエー
エエー



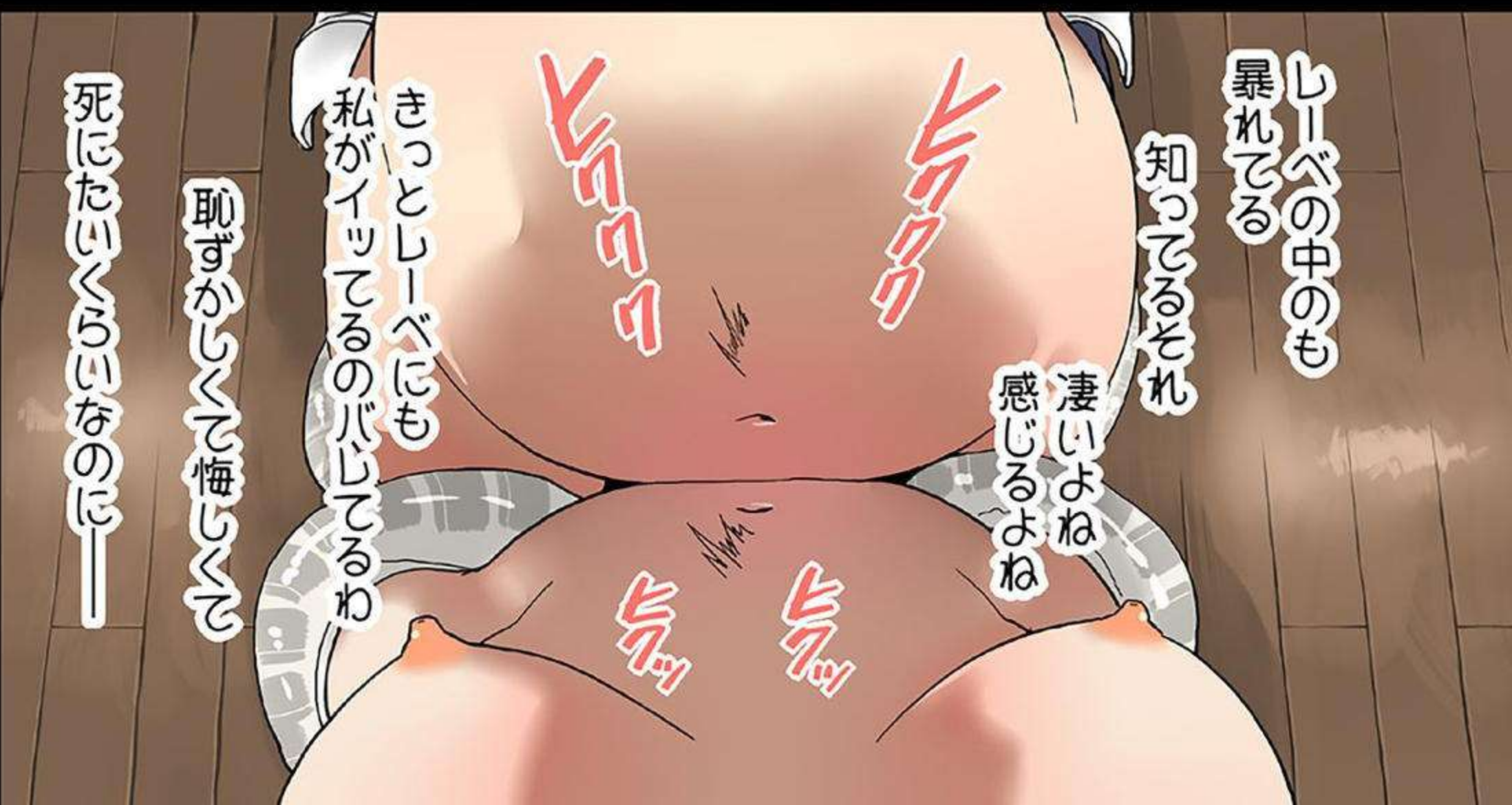
長い♡

長いのが子宮口にある♡

子宮の壁にびんがかって
くさってく♡

子宮の中って
感じるんだあ♡

いんなの
こんな知らないの♡



しーべの中のも
暴れてる

知ってるそれ

凄いやね
感じるよね

きっとしーべにも
私がいってるのバシってるわ

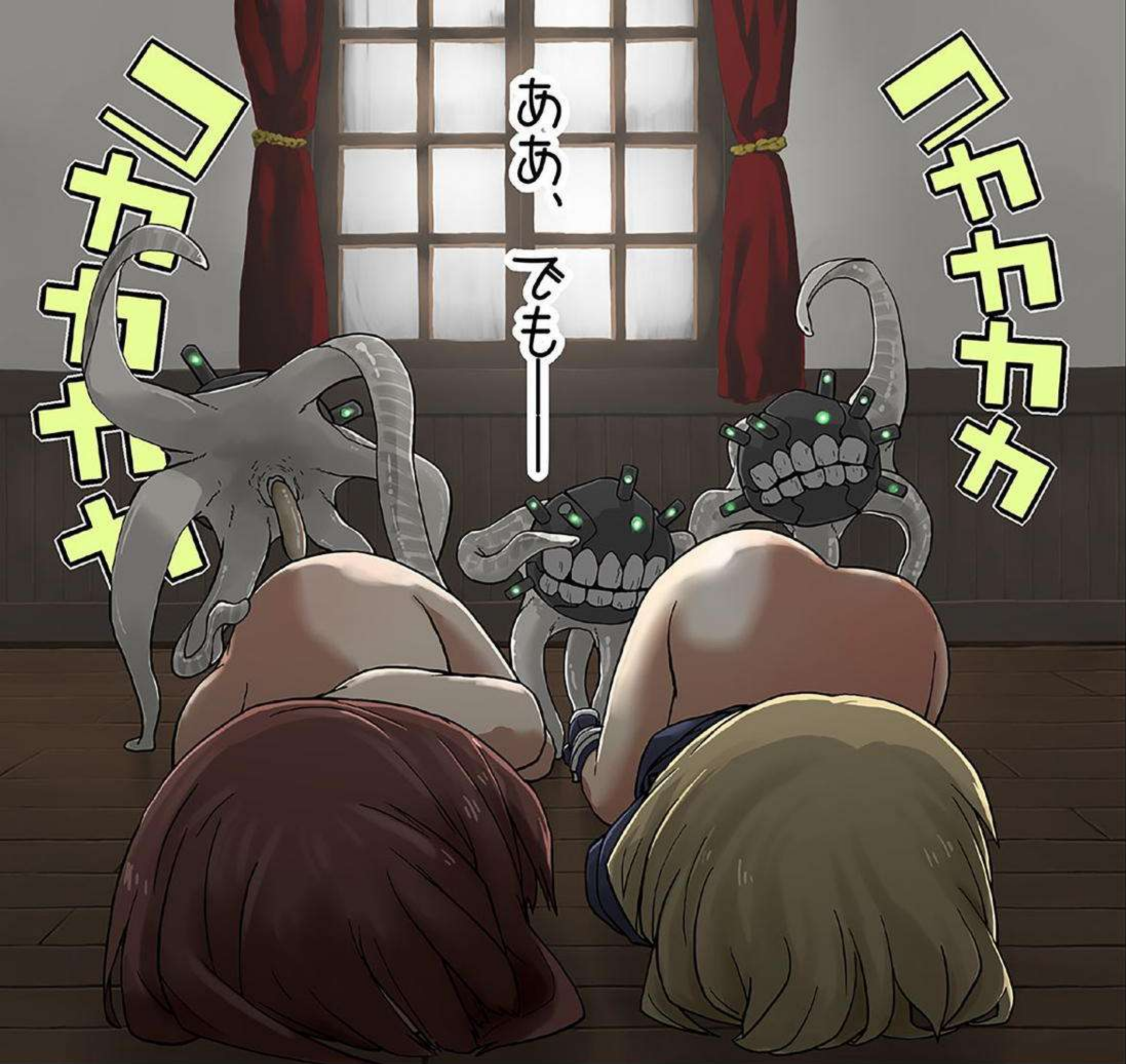
恥ずかしいで悔しいで

死にたいくらいなのじー

「フエフエカカ」

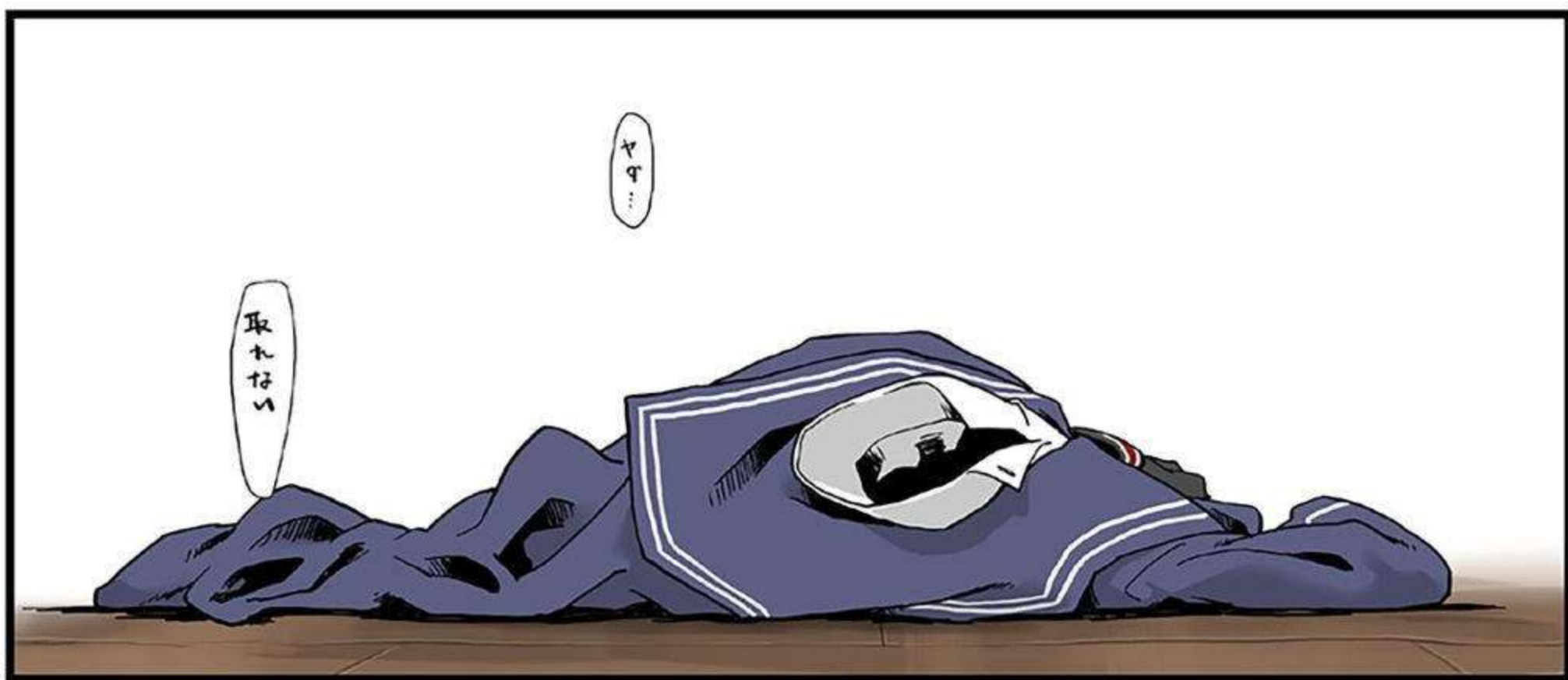
ああ、
でも——

「フエフエカカ」





すごく
良かった





お腹…重い…

私また、ヤツらの

苗床にされたの？



う…

ムク



また感じてしまったの？

出ない

出てこない

何で？



大丈夫よ

何も起きないわ

何日かすれば
排出されるから

だから落ち着いて

どうして、そう
言い切れ

…知ってるからよ

調べるほどの物じゃなかったわ

あ

マックス…
あの島で…

そうなんだね？



ガキ



撃つて
早く!!



ドカン



ドカン



撃つんぞろぞろ!!



ガキ





グッ

グッ

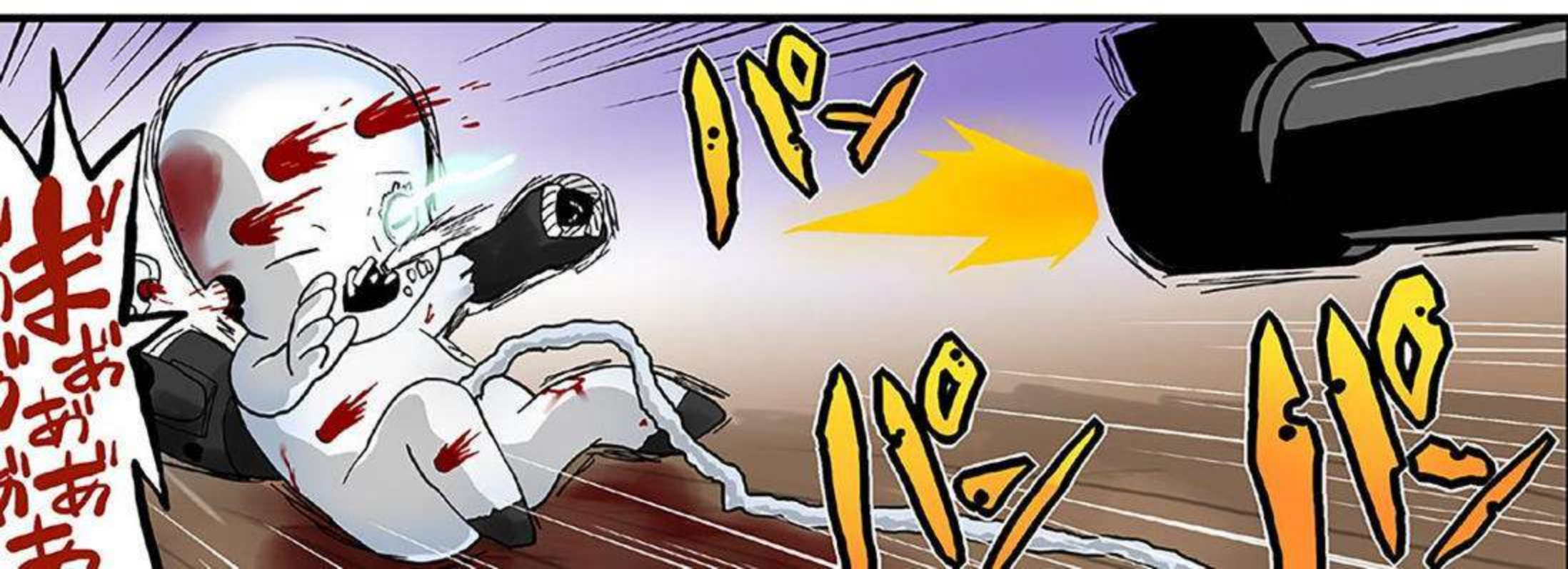
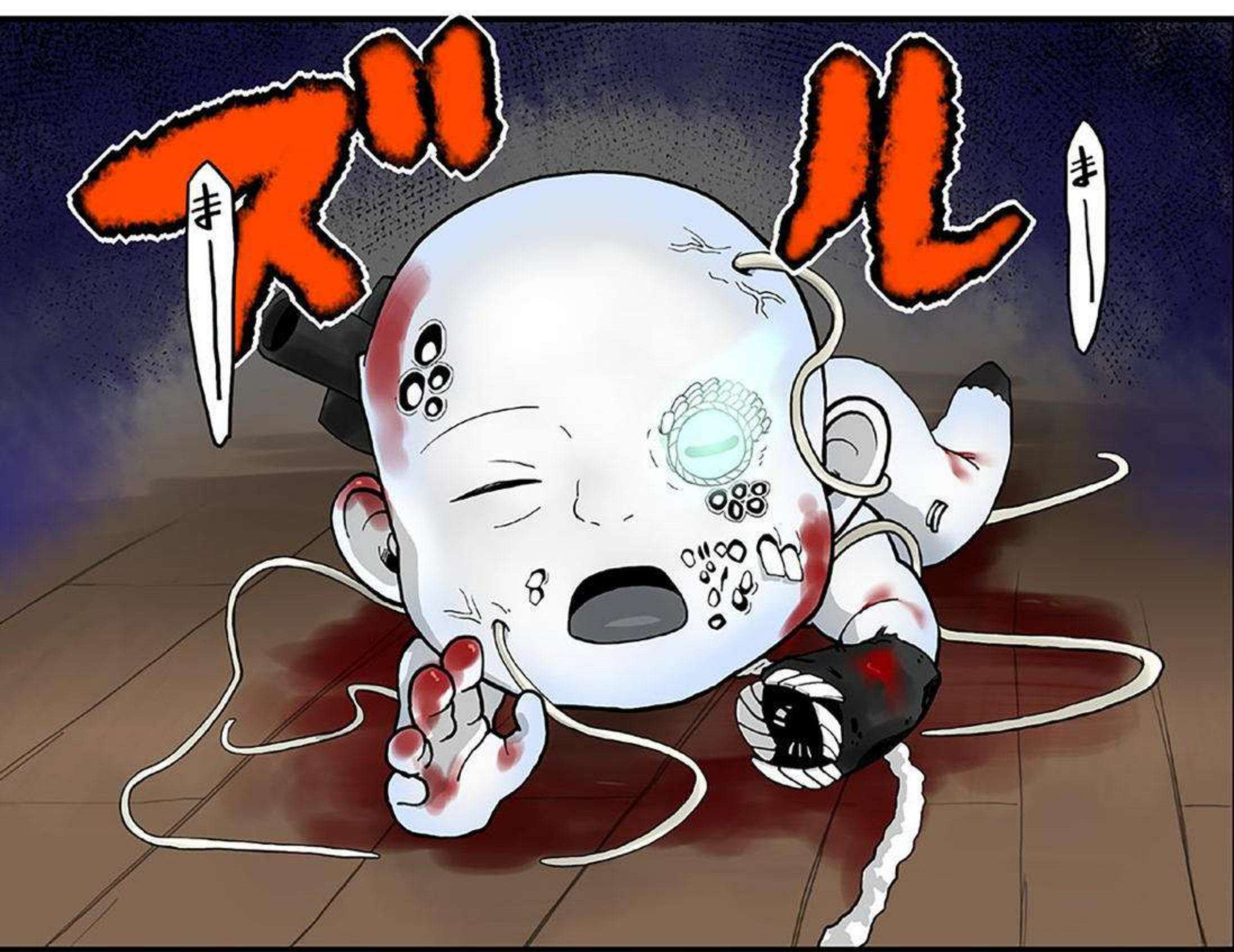
グッ

グッ

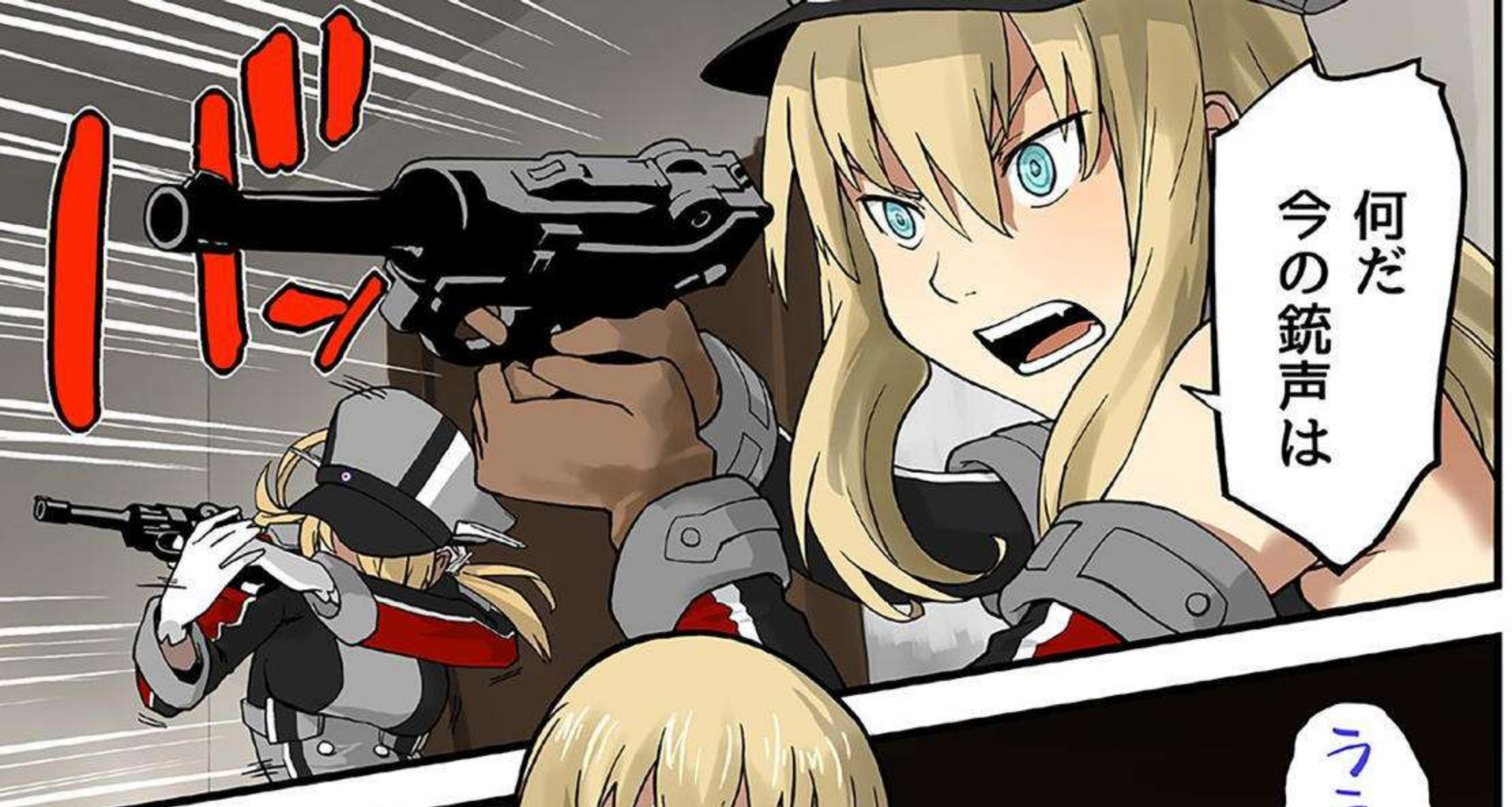
グッ

ゴッ

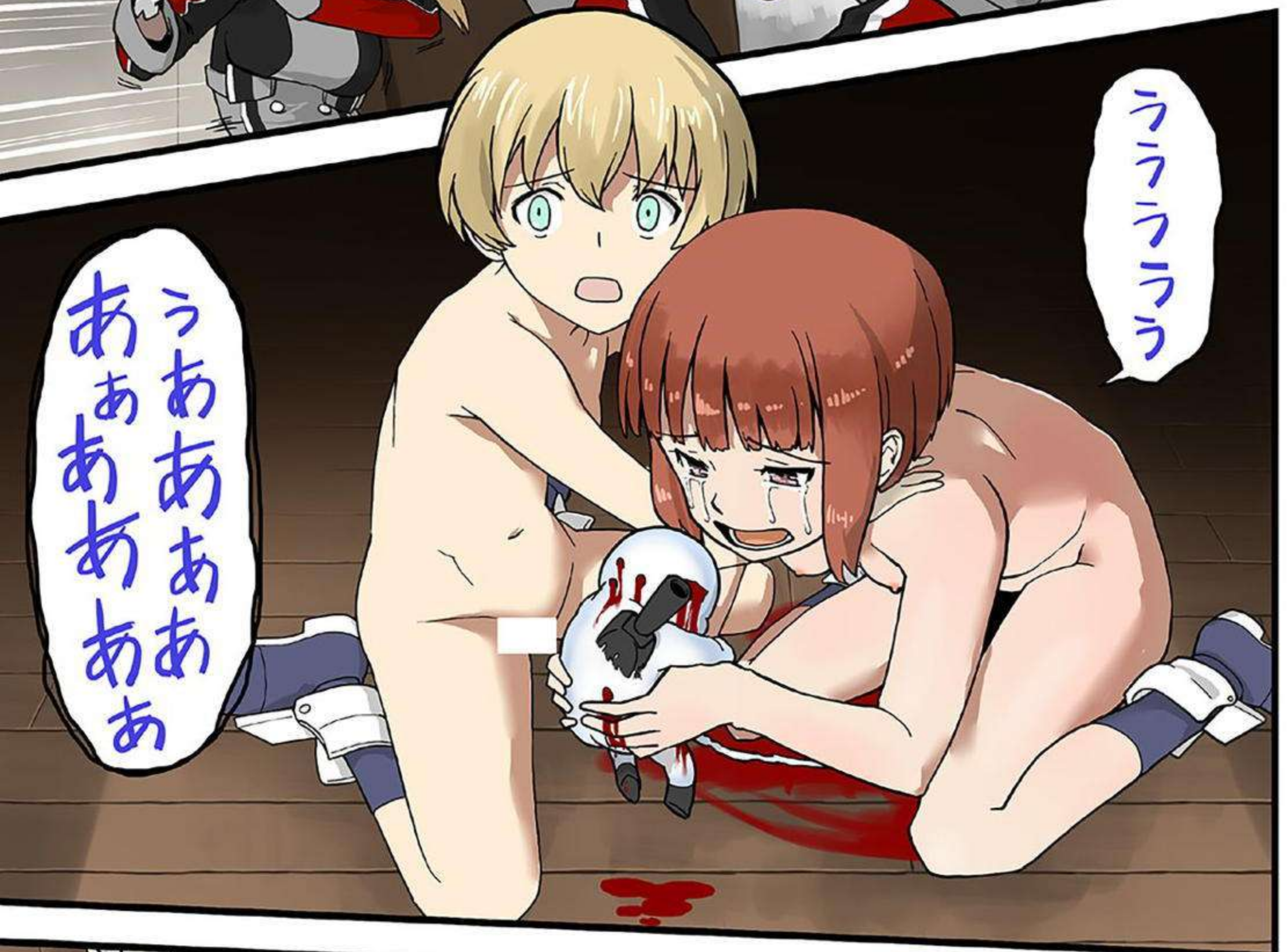
ゴッ





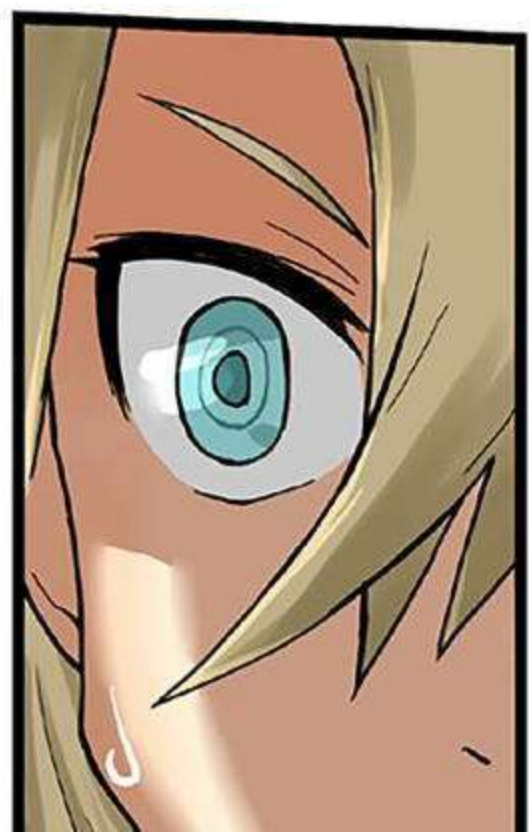


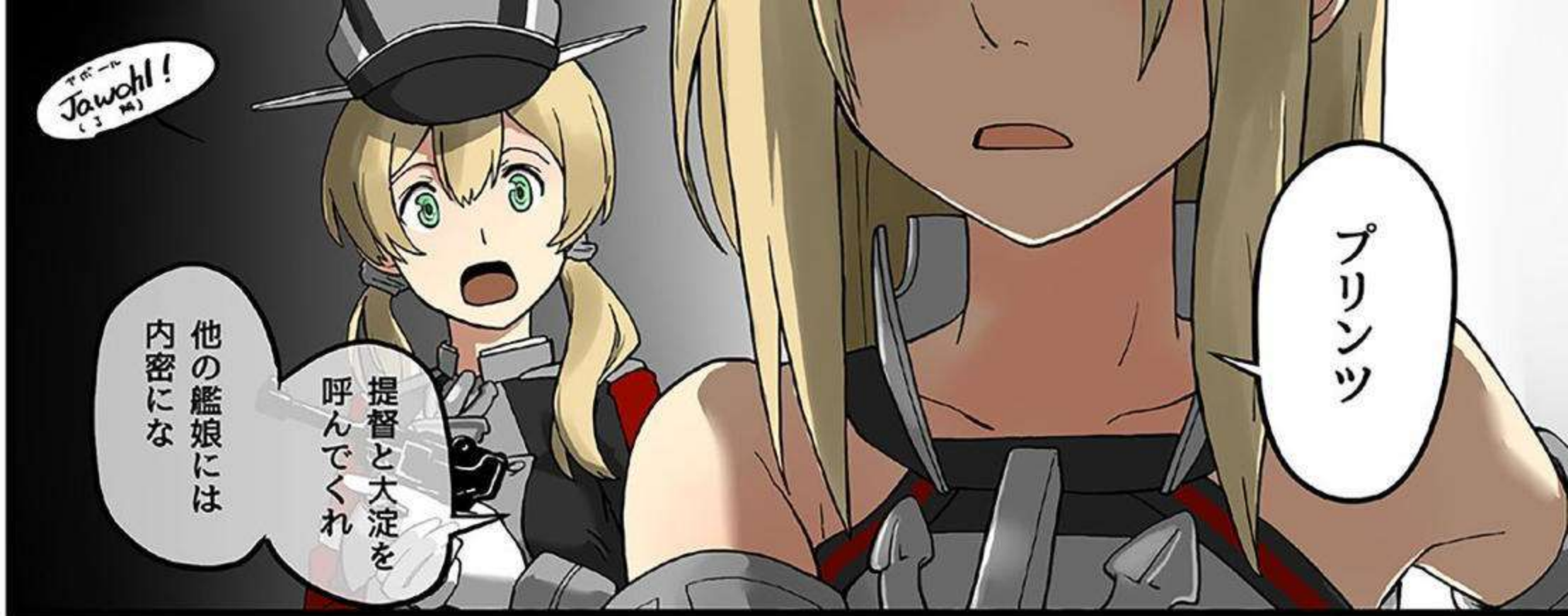
何だ
今の銃声は



ラララララ

うあああああ
あああああ







おい!?

レーベ?

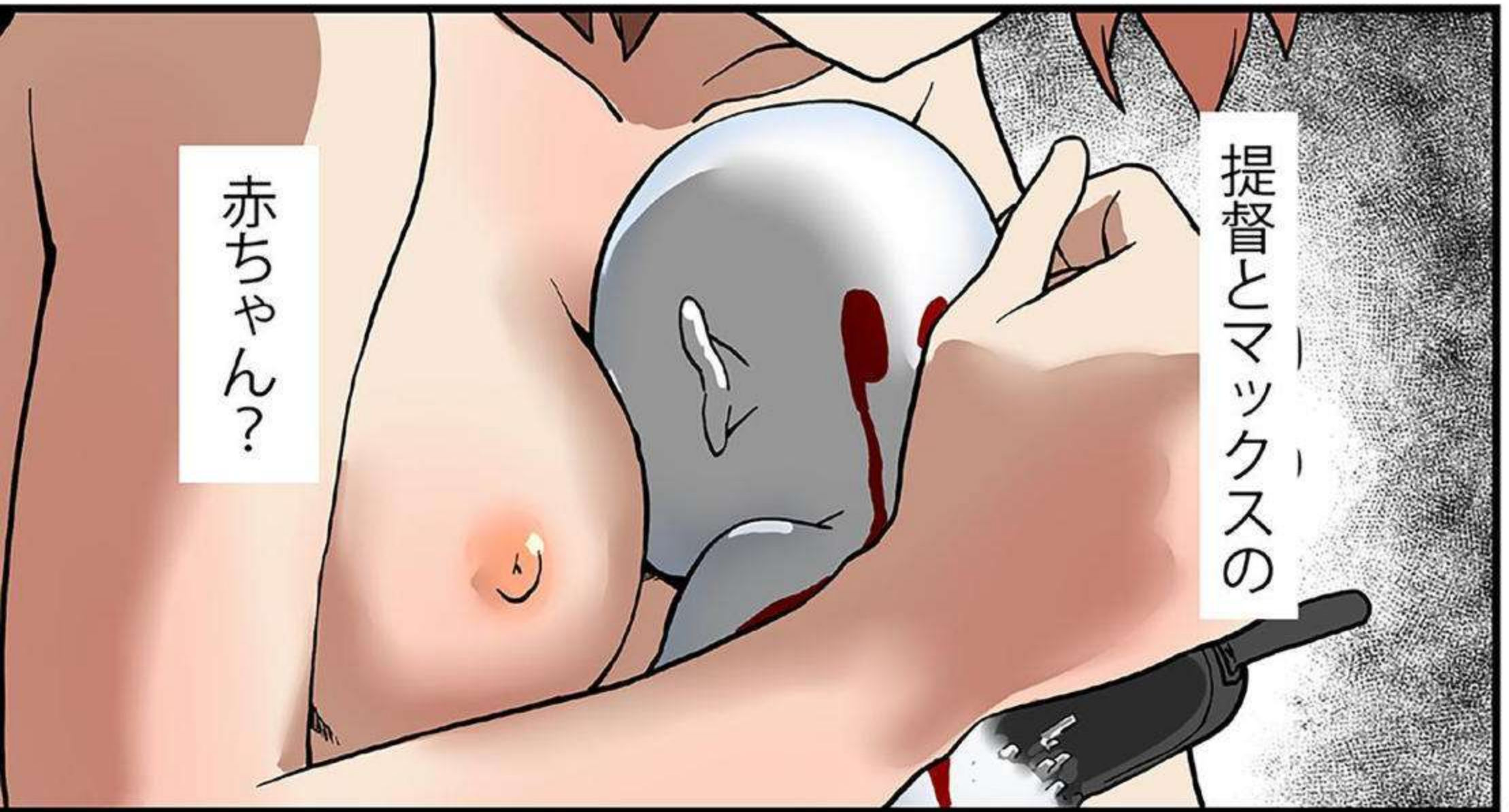
レーベ



何て言った?

今…

マックス



赤ちゃん?

提督とマックスの

あとがき

猛暑も若干和らぎながら、秋の気配はまだ遠く、そして新型コロナウイルスがまだまだ猛威を振るっている中、皆さまいかがお過ごしでしょうか？

時間の経過と共に、この疫病に対する緊張感が、やや薄れておりますが、3月ごろはその爆発的な感染力と感染防止手段の少なさで、これはもう、いつ感染して隔離、最悪死亡もおおかしくないとはい、モノクロに少し色を添えた『暫定版』を5月に発表。その後、健康面でも経済面でも大打撃を受けることなく、フルカラー版の完成に漕ぎ着ける事ができ、一つ肩の荷が下りた気分です。また、作品としての体は整えてはありましたが、未完成品である暫定版を多くの方が手に取ってください、この続編が待ち望まれていたという事に大変感謝しております。

これ以降のあとがきは、暫定版とほぼ同じ事を書くことになりましたが、フルカラー版から手に取る読者のために、内容の重複はご容赦いただきたく。

さて、今回は違うタイプの精英と生殖スタイルをご用意しましたがいかがだったでしょうか？

前回の「触手なのに前後運動し olmayanのは納得いかない」という趣旨から外れていますが、自在に形状を変え、力強く生殖器を打ち込みながら、外部からはその抽挿は見えないというスタイルをやってみたかったです。内部描写で丸見えではありませんが、何と言うか、こう：見えない結合部が、どんな風にネチヨグチヨにされてるんだろうという描写に興奮しませんか？ボクは死興奮しましたので、皆さまの嗜好に新たな地平線が拓かれることを願います。みんな、変な嗜好になくれ。

最後に。中盤の提督とマックスの絡みが省かれていますが、ここを描いてしまうと、これだけで1冊作れてしまう濃厚でラブラブなのを考えており、精英侵蝕のタイトルにそぐわない物になると判断したため大きくカットしましたが、このシーンは別冊として刊行するつもりなので、何年かお待ちください。愛が深いほど絶望が深くなる。そんな代物をご用意いたします。(ゲス顔)

Max Schultz

このページまであとがきで埋め尽くす予定だったのですが、1ページ空いてしまったので、レッグホルスター装着のマックスなど添えてみました。ところでレッグホルスターというアイテム、なかなかフェチズムを刺激しませんか？エロカッコイイアイテムとして、もっと広まってほしい。



奥付

精莢侵蝕2

発行：メガネガイコツ

発行日：2020年10月15日

発行人：球磨川祐一

原作：艦隊これくしょん

本書の複製・転載・アップロード

二次販売を禁じます。

A dark brown door with a gold handle is centered on a wooden deck. The deck is made of horizontal wooden planks. A shadow of a person holding a cane is cast onto the deck, extending from the bottom towards the door. The background is a light, hazy sky.

メガネガイコツ